

9	8	7	6	5	4	3	2	1
19	18	17	16	15	14	13	12	11

作戰班

參電第九四九號

電報 次長宛

岡部隊參謀長

昭和十七、二、二三  
 ニニニ、一五〇發  
 一八、一五受  
 北〇〇點

參電第七九七號第八八九號及總協第七七二號

(安達課長携行)ニ基キ二月二十一日ノ作戰北部

木マトラ及アングマン群島作戰ニ關シ左ノ如ク

協定セリ

一 作戰實施時機ノ標準

(一) マラツカ、海峽掃海概成日 (W日)ヲ概本二月

末乃至三月初頭トス

(二) 各作戰別作戰確立後上陸日ノ標準(未定)左ノ通り

(イ) スマトラ作戦下作戦三月上旬頃

(ロ) アンダマン群島作戦D作戦及U作戦W十二十

日頃(盤谷に進出セル海軍航空部隊ノ行動可能

ナルコトヲ要件トス)

ニU作戦輸送区分(別ニ送付ス)

三、關係陸海軍細部協定区分

昭南港ニ於テ二月二十八日頃第一南遣艦隊及第

十一航空艦隊ト丁軍第三飛行集團及第五飛行集團

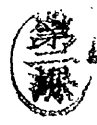
四、警備

サバン、アンダマンハ陸海軍協同シテ、ソングン海軍ハ主ト

シテ海上方面河川ノ警備戒ニ任ズル兵力ヲ配置ス其

細部ハ第一南遣艦隊駐泰軍間ニ協議決定ス

(終)



秘

電

張

宛 報

南參四電第一〇二三號

岡部隊參謀長

昭和一七、二、二三、

二二六、二〇五、〇五〇發

二〇五、〇五〇發

軍ハ昭南島ニ其ノ占領ト同時ニ所要ノ人員  
ヲ派遣シテ航空基地トシテノ施設ヲ整備シツ  
ツアルモ今後ノ設定實施ニハ將來ノ航空作戰  
航空政策ニ關シ確固タル基礎ヲ定メ置クヲ  
必要トスルニ付三月上旬ニ中央ニ於テ現地關  
係者ヲ西貢ニ會同セシムルヲ適當ト思料シテ  
リ配慮煩ハシ度

通電先 參、陸、航本

(終)



秘

電報

三二六

一〇〇〇  
一六六〇  
〇二〇〇  
〇五〇一

次長宛

一〇〇〇  
一六六〇  
〇二〇〇  
〇五〇一

昭和二十六年二月

南參一電第三二七號

閣下 部隊 參謀 長

二月二十五日正午迄ニ知得セル狀況

一林部隊

(1) 二十三日部隊ハ印度軍第一七師團主力(五、一、六千)ヲ擊破「シンタン」河左岸ノ線ニ進出セリ

(2) 軍戰團司令所ハ二十三日六時「チャイト」ニ進出セリ

(3) 二十四日迄ニ判明セル主ナル戰果  
遺棄死體 一五三〇 俘虜少クモ一〇〇〇以上

鹵獲品、自轉車

三〇〇

各種砲

四〇

自動貨車

二六〇

ニ治 部隊

佐野兵團ノ一部ハ二十三日「スマンカ」島（「スマトラ西南端」  
ノ敵海軍基地ヲ掃蕩砲ノ一部ハ二十四日夕「ベンクローレン」  
（ラハト）西方海岸）ヲ占領セリ

三 航空状況（二十四日）

(1) 菅原兵團ハ有力ナル部隊ヲ以テ二次ニ亘リ西部緬甸ノ「カリ

ヤジイ」「バンドン」西「バタビヤ」西「バイテンゾルグ」各

飛行場ニ進攻ス

綜合戰果

撃墜一〇機 炎上一九機 火網捕捉四一機ナリ

(2) 小畑兵團ハ「シツタン」河以西ノ地上及航空狀況ヲ搜索スルト共

ニ主力ハ次期作戦ヲ準備ス

(終)

# 至急秘

昭和一七三六

作戰班

電報  
次長宛  
南參二電第五九三號  
岡部隊參謀長

南參二電第五九三號

岡部隊參謀長

一、緬甸方面ニ於ケル敵情ニ關スル判斷概要左ノ如シ尙兵力ニ關シテハ從來ノ判斷ト大ナル變化ヲ認メズ

(1) 英蔣聯合ノ敵ハ其ノ結合連繫ノ銷鑰タル「マンドレー」附近中部緬甸ノ要域ヲ保持スルニ努ムベシ、之ガ爲目下蘭貢附近ニアル一部ハ我が北進ヲ牽制セシメツツ其ノ間ニ「マンドレー」附近ニ蔣軍ヲ進出セシメアルモノヲ如シ又印度東北地區ヨリ一部兵力來援ノ可能性ナシトセズ

10

8

7

6

(2) 蘭言附近ニ在ル敵ハ蘭貢「プローム」道ヲ殆ド唯一ノ退路トシ  
アルヲ以テ我が進入ニ極メテ敏感ナリ後方機關ハ既ニ擲退ノ徴  
アル狀況ニ依リ政府側ハ「バセイ」方向ニ退避スルコトヲ豫  
期ス

(3) 重慶軍ノ國內戰ト異ナリ作戰及補給上ノ不便ニ基キ一層其ノ行  
動ハ消極鈍重ナルベク作戰行動ノ範圍モ「マンダレー」平地  
（「タウンジー」「エナンジョン」野原）以南ニ出ヅルコト萬  
ナカルベシト觀察ス其ノ使用兵力ハ差當リ第六軍ノ二箇師（別  
ニ一師ハ北部泰緬國境ニアリ）及第五軍ノ三箇師ニシテ「マン  
ダレー」附近ヨリ「ラシオ」及「バーム」附近ニ亘ル地域ニ集  
中シ得ルハ早クとも四月下旬以降ト豫想シアリ



ニ印度、緬甸間ノ南下ニ關シテハ未ダ詳カナラザルモ左記道路ハ自  
動車ノ通行可能ノ見込大ナリ（二〇〇万分ノ一航空圖）

(1) 「シルチアー」—（經九二度五〇分緯二四度五〇分）—「イムバ

ール」—「タミニ」—「シターニ」道

(2) 「マニブールロード」—「シルチアー」—東北方約一五〇杼—「

インパール」道ハ今後ノ作戰ニ關係甚大ナルニ鑑ミ關係方面

ニ於テモ引續キ調査セラレ度

通電先 次長 林 五飛集 第二項ノミ富部隊

（終）

機

電報  
宛長

昭和十七年三月六日  
三三三〇〇〇  
點發

南參ニ電第五九一號

岡部隊參謀長

三月五日正午迄ニ知得セル狀況

一緬甸方面

四日飛行機ノ偵察ニ依レバ蘭貢一プローム間ノ  
列車自動貨車ノ運行稍々頻繁ナルガ如シ諸情  
報ヲ綜合スレバ敵後方機關移動シラズヤト觀  
察セラル

ニ治部隊

(カ) マラク<sup>ト</sup>及<sup>ト</sup>アウラン<sup>ト</sup>(共ニ爪哇島西北角)ニ上陸セル  
丸山兵團ハ那須支隊ヲ以テ三日早朝<sup>ト</sup>子サダホ  
河(マタヴイヤ<sup>ト</sup>西側ヲ南北ニ流ル)ノ線ニ進出セリ

(2) レンバン<sup>レ</sup>（スラバヤ<sup>レ</sup>西西北方<sup>ニ</sup>五<sup>ノ</sup>料）及<sup>テ</sup>ク<sup>ラ</sup>ガ<sup>ン</sup>（<sup>レ</sup>レ

ンバン<sup>レ</sup>東<sup>ニ</sup>七<sup>ノ</sup>料）附近<sup>ニ</sup>上陸<sup>セシ</sup>土橋<sup>兵團</sup>ハ二<sup>日</sup>レ

ンバン<sup>レ</sup>チエ<sup>プ</sup>レ（スラバヤ<sup>レ</sup>西<sup>ニ</sup>九<sup>ノ</sup>料）ツバン<sup>レ</sup>（<sup>レ</sup>ス

ラバヤ<sup>レ</sup>西北方<sup>ニ</sup>七五<sup>ノ</sup>料）ヲ台<sup>領</sup>シ三日<sup>六時</sup>ボ<sup>ジ</sup>ヨ

ネゴ<sup>ロ</sup>レ（チエ<sup>プ</sup>レ東<sup>ニ</sup>六<sup>ノ</sup>料）ノ敵<sup>ヲ</sup>攻<sup>撃</sup>中

(3) 坂口<sup>支隊</sup>ハ三日<sup>レ</sup>プロ<sup>グ</sup>レ（レンバン<sup>南</sup>三<sup>ノ</sup>料）ニ進<sup>出</sup>

シ爾<sup>後</sup>ノ行<sup>動</sup>準<sup>備</sup>中

(4) 軍<sup>ノ</sup>戦<sup>闘</sup>司<sup>令</sup>所<sup>ハ</sup>三日<sup>レ</sup>セラ<sup>ン</sup>レ（バタ<sup>グ</sup>アイ<sup>ア</sup>西<sup>七</sup>。

料）ニ在<sup>リ</sup>

### 三 航空状況（四日）

(1) 緬甸<sup>方面</sup>ノ敵<sup>空軍</sup>ハ極<sup>少</sup>數<sup>ヲ</sup>蘭<sup>貢</sup>飛<sup>行</sup>場<sup>群</sup>ニ殘<sup>置</sup>

シ主<sup>カ</sup>ヲ<sup>マ</sup>グ<sup>ツ</sup>エ<sup>レ</sup>飛<sup>行</sup>場<sup>（</sup>ア<sup>ロ</sup>ム<sup>北</sup>ニ<sup>五</sup>ノ料）ニ

退<sup>避</sup>セ<sup>ン</sup>モ<sup>ノ</sup>ノ如<sup>シ</sup>

(2) 北部ノスマトラ方面ノ各飛行場ニ敵機ヲ見ズ  
(菅原兵衛觀察)

(3) 菅原兵衛ハ着カナル一部ヲ以テ沿海部隊ヲ保  
戦ニ協力シ別ニ各一部ヲ以テ北部スマトラノ  
陸軍状況ヲ觀察並ニ移南島及ノバレムバンレ  
ノ上空制空ニ任ゼシメタルモ敵機ト遭遇スル  
兵衛司令部ハ移南島ノイカランレ飛行場ニ  
集結セリ

(4) 小畑兵衛ハ並カク以テ林部隊ノ作戦ニ協同セ  
リ

(終)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	
11	10	18	17	16	15	14	13	12	11

作戰班

第二課

三月十二日正午迄ニ知得セル狀況

→ 富部隊

(1) 西村部隊 小林支隊ハ十二日三時二十五分北部「スマトラ」方面「サバン」 「クタラジャ」ニ上陸成功セリ

(2) 佐野部隊ノ報告ニ依レバ南部「スマトラ」方面「ポールモサン」 「ムアラボ」 西北方八〇軒ノ敵ハ十日朝尙抵抗中ニシテ投降兵ノ言ニ依レバ「バタン」ニハ約二〇〇〇

電報  
次長宛

南參二電第六五一號

岡部 隊長

一〇〇〇  
一〇〇〇  
一〇〇〇  
一〇〇〇  
一〇〇〇  
一〇〇〇

昭和一七三一四

141

0718

ノ敵陣地ヲ齎樂中ナルモ兵ハ戰意ナシト

二 治部隊

丸山部隊ハ十日十時「バンドン」東南方地區ニテ敵一〇、九

五〇名（内英兵二、六五〇名）ヲ武装解除セリ

三 菅原部隊ハ十日有力ナル部隊ヲ以テ西村部隊ノ船團ヲ護衛ス

ルト共ニ一部ヲ以テ北部「スマトラ」方面ノ海岸ヲ搜索セリ

四 其ノ他ノ部隊ハ新報ヲ得ズ

（終）

第二課

秘 電 報  
次 長 宛

南參二電第六八八號

三月十六日正午迄ニ知得セル狀況

一 緬甸方面

十四日飛行機ノ偵察ニ依レバ「ニエーアンレピン」(「ペグ」北北  
東七十二料)ニ砲戰車ヲ有スル有力ナル部隊アリテ敵ハ

昭 一七、三、一八

三、一六、二五〇  
一、一七、三五〇  
一、一六、三五〇  
一、一五、三五〇  
一、一四、三五〇  
一、一三、三五〇  
一、一二、三五〇  
一、一一、三五〇  
一、一〇、三五〇  
一、〇九、三五〇  
一、〇八、三五〇  
一、〇七、三五〇  
一、〇六、三五〇  
一、〇五、三五〇  
一、〇四、三五〇  
一、〇三、三五〇  
一、〇二、三五〇  
一、〇一、三五〇  
一、〇〇、三五〇  
九、九、三五〇  
九、八、三五〇  
九、七、三五〇  
九、六、三五〇  
九、五、三五〇  
九、四、三五〇  
九、三、三五〇  
九、二、三五〇  
九、一、三五〇  
九、〇、三五〇  
八、九、三五〇  
八、八、三五〇  
八、七、三五〇  
八、六、三五〇  
八、五、三五〇  
八、四、三五〇  
八、三、三五〇  
八、二、三五〇  
八、一、三五〇  
八、〇、三五〇  
七、九、三五〇  
七、八、三五〇  
七、七、三五〇  
七、六、三五〇  
七、五、三五〇  
七、四、三五〇  
七、三、三五〇  
七、二、三五〇  
七、一、三五〇  
七、〇、三五〇  
六、九、三五〇  
六、八、三五〇  
六、七、三五〇  
六、六、三五〇  
六、五、三五〇  
六、四、三五〇  
六、三、三五〇  
六、二、三五〇  
六、一、三五〇  
六、〇、三五〇  
五、九、三五〇  
五、八、三五〇  
五、七、三五〇  
五、六、三五〇  
五、五、三五〇  
五、四、三五〇  
五、三、三五〇  
五、二、三五〇  
五、一、三五〇  
五、〇、三五〇  
四、九、三五〇  
四、八、三五〇  
四、七、三五〇  
四、六、三五〇  
四、五、三五〇  
四、四、三五〇  
四、三、三五〇  
四、二、三五〇  
四、一、三五〇  
四、〇、三五〇  
三、九、三五〇  
三、八、三五〇  
三、七、三五〇  
三、六、三五〇  
三、五、三五〇  
三、四、三五〇  
三、三、三五〇  
三、二、三五〇  
三、一、三五〇  
三、〇、三五〇  
二、九、三五〇  
二、八、三五〇  
二、七、三五〇  
二、六、三五〇  
二、五、三五〇  
二、四、三五〇  
二、三、三五〇  
二、二、三五〇  
二、一、三五〇  
二、〇、三五〇  
一、九、三五〇  
一、八、三五〇  
一、七、三五〇  
一、六、三五〇  
一、五、三五〇  
一、四、三五〇  
一、三、三五〇  
一、二、三五〇  
一、一、三五〇  
一、〇、三五〇  
〇、九、三五〇  
〇、八、三五〇  
〇、七、三五〇  
〇、六、三五〇  
〇、五、三五〇  
〇、四、三五〇  
〇、三、三五〇  
〇、二、三五〇  
〇、一、三五〇  
〇、〇、三五〇

岡 部 隊 參 謀 長

逐次「トングート」方面ヨリ南下中ナリト

ニ「スマトラ」方面

(1) 西村兵團ノ主力ハ十四日「トバ」湖東南端「ホロセア」ニ

テ逆襲シ來レル敵約百ヲ撃破シ十四時「バリゲ」ニ進出

ス兵團司令部ハ十五日朝「パラハト」(「トバ」湖東側)ニアリ

(2) 小林支隊ハ「クタラジャ」ヨリ東進シ十三日十四時「シグリ

」ヲ占領セリ

三、渡部隊軍砲兵隊一部ハ十五日「パンラゴンドン」(馬尼



刺灣口南岸)西方陣地ヨリ馬尼刺灣口ヲ砲撃セリ

四、航空部隊(十四日)

(一)菅原部隊

前日ト變化ナシ

(二)小畑部隊

一部ヲ以テ「ニューアンレビン」附近ニ自動車四〇列

車三〇ヲ攻撃爆砕セリ

(終)

第二課

作戰班

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
19	18	17	16	15	14	13	12	11	10

三月十七日正午迄ニ知得セル狀況

林集團

竹内兵團ハ三月十日以來「ダイク」(「ベグー」)北々東一〇軒  
 附近ニ集結シ十五日夜ヨリ「ニウアンレピン」(「ベグー」)北々  
 東七二軒(附近ノ約三、四千ノ敵ニ攻撃ヲ開始セシモ敵ハ事前北  
 方ニ退却シ兵團ハ之ニ尾シテ十六日正午「ニウアンレピン」北方  
 約一〇軒ヲ通過追撃ヲ續行中ナリ

電報  
 次長宛  
 南參一電第六九八號  
 岡部除總參謀長  
 一七二二〇  
 一五五二〇  
 一三二〇〇  
 〇〇〇〇  
 點受著發

昭和一七年一八

三 富部隊

西村兵團澤村部隊ハ十三日一部ヲ以テ「ベラワン」岬（「メダン」  
北方二五軒）ニ上陸シ主力ハ「メダン」附近ニ挺進ス

三 敵軍狀況（十五日）

(1) 十五日小畑兵團ノ偵察ニ依レバ緬甸方面ノ敵空軍主力ハ「マト

ミウエ」ー「ブルーム」北方一五〇軒）ニアリ又「アキヤブ」

ニハ小型十數機ヲ増加セシガ如シ

(2) 菅原兵團ハ前日ト變化ナシ

(3) 小畑兵團ハ一部ヲ以テ四次ニ亘リ「ニウアンレピン」ノ敵自動

車群及敵陣地ヲ爆撃セリ

（終）

0724

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11
				(1)	林	月			

第二課

日正午迄ニ知得セル狀況

南邊二覽第八一九號

次長宛

四ノニ  
一〇六五〇二  
〇〇一〇二  
〇〇〇〇〇  
點受著發

岡部 陸 參 謀 長

昭和一七四二

竹内兵團ノ一部ハ三月二十六日以來「トングー」ノ敵蔭軍約三  
 千ヲ攻撃「東南ヨウ」ニ於テハ國壁（高サ二〇米厚サ一米ノ鐵  
 瓦壁）ニ據リ頑強ニ抵抗スル敵ニ坑道構築突撃ス三十日十一時  
 市街ノ掃蕩ヲ實施ス又別ノ一部ハ二十八日「ナンヤン」（「ト  
 グー」西北方二〇軒）ヲ占領以來優勢ナル敵ノ反撃ヲ再三

退セリ

(2) 櫻井兵團主力ハ二十九日「バデゴン」(「プローム」東南方五

〇杆) 附近ニ進出其ノ西南ヨリ前進セル戦車十數輛砲數門ヲ有

スル敵ヲ西方ニ壓迫三十日朝「バデゴン」西方ニ〇杆附近ニテ

交戦中一部ハ二十九日「シユエダン」(「プローム」南方一二

杆) ヲ急襲占領其ノ南方「マウダイシ」ヨリ北進セル裝甲車、

自動車約六〇輛ノ敵ヲ南方ニ撃退セリ

(3) 渡邊兵團先遣隊ハ二十九日「アレミヤシ」(「トングー」東北

六杆) ノ敵ヲ撃破十六時ヨリ「トングー」市ノ側背ニ向ヒ攻撃

セリ

ニ小畑兵團 三十一日

主力ハ「マダウエ」舊飛行場ニ進攻在地敵機ヲ索メテ攻撃十數機  
ヲ火網ヲ以テ覆ヒ其ノ大型一機ヲ炎上セリ敵空軍ハ依然増加ノ徴  
ヲ認メズ

(終)

129

0727

第二課

電報  
次長宛

南參二電第八六五號

四六二二  
七〇三二  
〇〇三二  
〇八二〇  
點受著發

岡部隊參謀長

昭和十七年七月

四月十六日十六時迄ニ知得セル戰況

一杯集團

(1) 渡邊部隊先遣隊ハ四月十八時「モチ」<sup>コウザン</sup>嶺山「トウングー」

東東北六七軒「西北方ニ進出シ第一梯團ハ「トウングー」東

方四〇軒ニ進出セリ

(2) 竹内兵團ハ五日「エダセ」<sup>トウングー</sup>「トウングー」北北西二〇軒

南側及西南側ニ進出シ「エダセ」ノ敵ニ對シ攻撃ヲ準備セリ

(8) 機井兵團ハ四日正午「チャウバダン」「サンベジイ」「ビイ

ンボウ」ハ共ニ「アランミヤウ」東南方半徑二〇浬ニ進出

シ「アランメウ」ハ「ブローム」北六三浬ノ敵ニ對シ攻撃ヲ

準備中

### ニ 涉 築 團

築團ノ攻撃ハ豫想以上ニ進展シ奈良兵團ノ先頭ハ五日夕刻「サ

マツト」山西南方約一浬半ニ、北野兵團ハ五日朝「サマツト」

山頂及其ノ東麓ニ進出シ敵第一線陣地帯ノ突破ヲ完了セリ

三 小畑兵團ハ五日一部ヲ以テ竹内兵團ノ戦鬪ニ協力スルト共ニ別

ニ一部ヲ以テ「アキヤブ」ニ進攻營飛行場ニテ大型小型各一新

飛行場ニテ破壊機一ヲ夫々發上セリ

(終)



昭和一七四一七

電報  
宛長次

岡部隊參謀長

四一六二二二  
一七六二二二  
〇〇〇〇〇〇  
〇〇三三〇〇  
〇〇〇〇〇〇  
〇〇八〇〇〇  
點受著發

南參二電第九二四號

四月十六日正午迄ニ知得セル狀況

一 林部隊

(1) 渡邊部隊ハ依然道路、橋梁ヲ修築、前進準備中ナリ

(2) 竹内部隊ハ十四日十一時「ミヤウラ」(「サガヤ」北一〇

軒)ヲ占領シ、北方ニ進撃中ナリ

(3) 榎井部隊ハ十三日佐久間部隊ヲ以テ八時「インマドウ」

「インレロン」(共ニ「マグウエ」東方約二五軒)附近

ニ兵力ヲ集結シ荒木部隊ヲ以テ十一時「ミギヤンギー」

(「マグウエ」東南方三三軒)ノ約一千ノ敵ヲ撃破セリ

ニ渡部隊ハ十五日軍砲兵隊ヲ以テ「コレヒドール」島ヲ砲撃セ

リ

ニ小畑部隊ハ十四日各一部ヲ以テ「ミンダン」(「マンダレー」

南一六〇軒)市街及「アキヤア」飛行場ヲ攻撃セリ

(終)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
		✓			④	⑤	⑥		
		13	17	16	15	14	13	12	1

(1) 17 N C L 攻略ノ際 全面無條件降伏ヲ強要シ(四)號

(2) 17 A P 山中句迄 主要戰是作戰ヲ終了ス

(3) 17 諸要塞ヲ攻陷ス

渡部隊今後ノ作戰日程ノ大要左ノ如シ  
 17 N C L 17 H F 迄ニ 17 N C L 及其他ノ 17 X Z D ノ

電 報  
 次 長 宛  
 南參一電第六五號

國 部 隊 參 謀 長

四、三四、昭  
 一七、四、二六  
 一七、四、二六  
 一七、四、二六  
 一七、四、二六  
 一七、四、二六

作戰ヲ雨季前ニ完了スルニ努ム

二右ニ依リ渡部隊方面ヨリノ兵力抽出ヲ豫定スルト

左ノ如シ

(1)五月末迄ニ大連到着豫定ノ大口径砲及戰車等ハ五

月二十日頃轉用ス

(2)川只河村ハ參戰第四八號會社河村部隊ノ集結關立行

ノ通

(3)津田(河村?)六月中旬下旬ノ候 北野ハ七月下旬又ハ

八月上旬ト豫定シ中史ノ計畫ニ依リ

210  
①「T H Y」ノ長野支隊ハ七月中旬迄ニ抽出スルヲ

ナシ

(注)輕重砲隊第三大隊及臼砲第二大隊ハ七月中旬以降

ト避難域ルハク永ク残置ス

三、主要戰是作戰ハ川口、河村ノ轉用時機ト「ONX」

方面ノ敵兵力ニ鑑ミ再度ニ對シ又未戰是ノ旨ヤセ

諸島ニ對シ努メ雨季以前ニ實施ノ關係上渡集團

ニ五月上旬ヨリ約一箇月間累計約四萬噸ヲ配當ス

左舷船ハ「INC」攻陸直後「GUY」ニ集合セシム

只渡部隊ハ前記兵力ト船舶トヲ以テ第三南遣艦隊ト  
協定ニ速カニ「CTD」ヲ立案シ報告相成度

五中央ハ抽出豫定日次新設守備隊到着日次確定  
次第通報相煩ハシ度

通電先、次長、渡

(終)

0735

167

配布先

総長 次長 総務部長 一、二、三部長

第二、三、十四、十五、十、十一各課長

1	9	8	7	6	5	4	3	2	1
2	10	15	17	18	15	14	13	12	11
ナ ン	英 軍	ナ ン	蔣 介石 軍	度 リ	甸 緬				

方向ニ退避シ退路ヲ「イムパール」ヲ經テ印度ニ求ムルナラ

英軍ハ右ニ伴ヒ「チンドウイン」河上流「モーレーク」「シター

ナ

蔣介石軍ハ近ク「ラシオ」及「バーモ」ヨリ逐次退却ヲ企圖スル

度

於ケル目下ノ敵情ニ關シ當方ハ次ノ如ク判斷シアルモ貴見承

南參二書第九八〇號

次 長 宛  
岡 部 隊 參 謀 長

電 報

四 二 二  
六 六 二  
〇 〇 二  
七 〇 〇 一  
二 四 一 三  
〇 〇 三 〇  
駐 受 著 發

昭和一七四二六



理由

一入籍セル蔣介石軍骨幹長團ハ「トングー」附近ヨリ「ピンマナ」  
附近ノ間ニ逐次敗退セリ「マングレー」南方地區ニハ既ニ有力ナ  
ル新銳戦力ノ認ムベキモノナシ之我ガ第十八師團ノ戦闘加入ハ敵  
ヲシテ「マングレー」南方地區ノ陸方俄カニ加重セルヲ感知セシ  
メツツアルハ敵側ノ諜情報ニ從シ臆カナリ  
更ニ我ガ第五十六師團ノ「マツンジー」進出ハ敵第五、第六軍ヲ  
分斷シ「ラシオ」方面ノ敵背後ノ連絡線ハ、ヨリ困難ニシテ脅威  
ヲ與ヘルニ至レリ  
外制作戦トシテ側背ノ感受性ヲ過剰シアル蔣介石軍トシテハ今ヤ  
中部緬甸平地ニ進出セル某主力ヲ「マングレー」附近ニ遲滞セシ

ムルコトナク東北方ニ退避セシメントスル公算大ナリ。蓋シ蔣介石軍ニ既ニ與ヘタル損害死傷約一五一「バーセント」ト推測シアリ

ニ蔣介石軍退却ノ場合ハ速カニ第四九師及第九三師ヲ以テ我ガ第五十六師團ノ「ラシオ」ニ向フ突進ヲ妨害スルニ努メツツ主力ヲ以テ「ラシオ」方向、一部ヲ以テ「バーモ」方向ニ逐次後退スベク狀況止ムヲ得ザル場合ハ主力ヲ以テ「バーモ」附近ニ向リ退却スルコトアルベシ

爾後勉メテ「ラシオ」及「バーモ」附近ニ於テ頽勢ヲ恢復シ以テ緬甸ノ一角ニ地歩ヲ維持スルハ其ノ希望スル所ナルベシ

ニ英軍ハ「エナンジョン」附近ニ於テ蔣介石軍ノ一部ノ支援ニ依リ覆滅ヲ免レタルガ如キモ屢次ノ攻撃ニ依リ戦力ノ低下甚大ナリ

ク今後ハ蒋介石軍ノ襲後ニアリテ其ノ退却ニ追隨シ「チンドゥイ  
シ」「カモウ」ヲ北方ニ退避スベク既ニ作戦能力ヲ失セルモノ  
ト認めラル而シテ過般在緬甸英軍ノ印度引上ノ議モアリシニ徴シ  
蒋介石軍ノ緬甸ヨリスル敗退ニ伴ヒ「モーレンーク」「シターニ」  
附近ニ後退シ好機ヲ看テ「インパール」經由印度ヘノ撤退ヲ策ス  
ル公算大ナル因ニ英軍（緬甸軍ヲ含ム）ニ與ヘタル損害ハ四〇％  
ヲ下ラザルモノト推測シアリ

通雷先 林 第五飛行師團 東京（参考）

（終）

172

0740